

体育授業における児童のコミュニケーションの実態

～学習形態の違いに着目して～

発表者・司会・進行（小林市立西小林小学校 吉永 尊昭）

記録者（綾町立綾小学校 喜田 紳一郎）

発言者	内 容
倉岡 落合 発表者	班別とグループの違いは？ 班別→能力別、種目別で分けた班。 単元通してメンバーが変わることもある。 技術習得や向上を主なねらいとしている。 グループ→単元通して同じメンバー。 社会性や協力する態度をねらいとしている。
生目台東 長野 発表者	グループの能力は同じくらいか？ どういグループにしていくかに重きを置く。 人間関係、社会性、グループ作りに重きを置く 班別→技術の習得や向上
生目台東 長野 発表者	児童が決めるのか？ 必ずしも児童主体ではない。 必要に応じて教師が導く。
生目台東 長野 発表者	調査のときに、対象児童の動きは？
日知屋東 井上 発表者	基本的には、班別→個人で動く。グループ→グループで動く。 同じ学級を2つに？
日知屋東 井上 発表者	別学級。指導者は同一。 指導の仕方、かかわり方に違いは？
門川 川嶋 発表者	指導過程は同じ。一斉指導。実態に応じ、声かけをした。 学習形態で声かけを分けることは無かった。 グループ学習のほうが、児童が動く分、声かけは少なかったかもしれない。 話し言葉、ネガティブなものが多かった。いい方向の会話はどれくらいあったか。 どんな声かけをしたか？ 話し言葉の中身、頻度までは結果に残していない。 メモには残しているが、分類はしていない。 声かけについては、マイクに残っているが、声かけの解析についてもまだである。
宮内教授 発表者	班→強力なリーダー＋班員？ そうではない。
野尻 富田 発表者	今後の展望は？ 体育授業が普通の学級の人間関係作りに大きくかかわっている。 他教科と比べ、体育はコミュニケーションチャンネルの出現回数が多い。 体育→コミュニケーション能力を育てるには効果が大きい。 グループ学習、いい雰囲気が進むのだが、技術の習得を押さえていかなければなら ない。 グループ学習を有効に行っていきたい。 じっくり今回の研究を生かした体育授業を行っていき、児童の変容をとらえた実践 をしたい。